

1 題材名 「ぬのから生まれた『ヌノ〇△□』」

2 題材の目標

- さまざまな布に関心を持ち、そのよさや違いに気付きながらつくることを楽しもうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- いろいろな表し方を試しながら、発見をしたり、偶然できた形をきっかけにしたりして、発想や構想をふくらませることができる。
(発想や構想の能力)
- 布と身近材料とを組み合わせ、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表すことができる。
(創造的な技能)
- 互いの思いや考えを伝え合い、表し方のよさやおもしろさを感じ取ることができる。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 教材について

本題材は、布を中心的な造形素材として扱い、布の形を変えながらその感触を味わい、想像したものを自分の思いのままにつくりだしていく楽しさや喜びを味わうことをねらいとしている。布は身近な材料であり、材質の違いでさまざまな風合いがある。布の手触りは子どもたちの中にある、いつもと違う感覚を引き出してくれるはずである。また、切ったりつないだりすることが簡単で形を変えやすく、やり直しもきくので、失敗をおそれず、いろいろな方法を試そうとする意欲もわくのではないかと考える。

(2) 児童の実態 (男子10名, 女子3名, 計13名)

本学級の児童は、図画工作科の学習が好きで、たいへん意欲的に活動に取り組んでいる。1学期に学習した「材料物語—こんな物語ができたよ—」では、全ての児童がいろいろな材料や用具に進んでかかわり、身に付けた知識や技能を生かしながら工夫して表すことができた。一方で、鑑賞の授業観察からは、自分の思いや考えを書くことはできても、それを友人にうまく伝えることができなかつたり、材料や用具等を選んだ理由を十分に説明できなかつたりする場面が見られる。このような本学級児童の実態と新学習指導要領で示された言語活動の充実というねらいを踏まえると、児童が、形や色、材料などに十分にかかわり、それをもとに思考・判断しながら、表現することができる学習活動が必要であると考える。

(3) 指導に当たって

本題材では、題材に出会う段階で布と遊ぶ時間を十分に設け、布のもつ可塑性に関心をもたせる。製作の段階では、多様な効果的な表現ができるよう、いろいろな布や材料を用意し、材料に合わせた接着の仕方や切り方等の習得した技能を確かめながら、布の特徴を生かした作品づくりに活用させていく。また、学習段階ごとのまとめとして、学習カードに自分の発想・構想の過程や製作の根拠、気付き等を記述させることで、児童が学習中に何を考え、何を学んだのかが分かるようにする。さらに、それらのことを友人と話し合う場を設定することで、自分と友人の考えを比較し合ったり、理解し合ったりすることができるようにする。

このような学習活動を通して、思考・判断しながら、自分の思いや夢を形や色に表現していく楽しさや喜びを味わわせたいと考える。

4 指導と評価の計画 (5時間取扱い)

時	段階	学 習 活 動	観 点 別 評 価 規 準			
			造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	出 会 う ね る	「ぬので遊んで、『ヌノ〇△□』をつくらう」	いろいろな布や材料に進んでかかわり、楽しくつくらうとしている。 (観察)	いろいろな表し方を試しながら、発見をしたり、偶然できた形をきっかけにしたりして、発想や構想をふくらませている。 (観察, 作品, 学習カード)		
2		いろいろな布で遊び、試しながらつくる。				
3	・ 表 す	『ヌノ〇△□』をつくらう」	布に関心を持ち、そのよさやおもしろさに気付きながら、つくることを楽しもうとしている。 (観察)		布と身近材料とを組み合わせ、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表している。 (観察, 作品, 学習カード)	
4		自分の思いに合わせて工夫して「ヌノ〇△□」をつくる。				
5	ま と め る	『ヌノ〇△□』をしょうかいしよう」	自分や友人の作品のよさやおもしろさに関心をもつようとしている。 (観察)			互いの思いや考えを伝え合い、表し方のよさやおもしろさを感じ取っている。 (発表, 学習カード)

5 本時の指導

(1) 目標

布と身边材料とを組み合わせ、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表すことができる。

(2) 準備・資料

教師…さまざまな布、ひも、アルミ線、輪ゴム、粘着テープ、安全ピン、接着剤、マジック、参考資料等
 児童…布、身边材料、はさみ、ホチキス、新聞紙、接着剤、絵の具セット、学習カード、筆記用具等

(3) 展開

学習内容・活動	指導と評価 (○は全体、・は個、□は評価)
<p>1 本時のねらいと活動内容を知る。</p> <p>自分の思いに合わせて、工夫して「ヌノ○△□」をつくろう。</p> <p>2 布の特徴を生かして、つくりたいものをつくる。</p> <p>□は期待する児童の反応</p> <p>○ 布の切り方を工夫する。</p> <p>・はさみで切り込みを入れてみよう。 ・引き裂いてみよう。 ・たたんでから切ってみよう。等</p> <p>○ 布のつなげ方を工夫する。</p> <p>・布と布を結んでみよう。 ・安全ピンでつなげよう。 ・接着剤を使おう。 ・ホチキスを使おう。等</p> <p>○ 大きさを工夫する。</p> <p>・布の中に新聞紙を入れて大きくしよう。 ・小さな球をたくさんつくろう。 ・違う大きさのものを組み合わせよう。等</p> <p>○ 形を工夫する。</p> <p>・布をねじってみよう。 ・リボンのようにしばってみよう。 ・布だけを丸めてみよう。 ・モールやアルミ線でとめてみよう。等</p> <p>○ 組み合わせるものを工夫する。</p> <p>・ボタンで目をつくろう。 ・ひもやリボンで飾りにしよう。 ・モールを付けて手や足にしよう。 ・アルミ線を入れて、動くようにしよう。等</p> <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 自分の思いや工夫した表し方 ○ 友人の思いや作品のよいところ ○ 自分と友人の表現や考えの違い</p> <p>4 次時の活動について知る。</p> <p>「ヌノ○△□」を完成させて、友人にしようかいしよう。</p> <p>5 後片付けをする。</p>	<p>○ 前時の児童の自由な発想を賞賛することで、学習意欲を高めるようにする。</p> <p>○ 用具の使い方や時間などの約束ごとを確認しながら、安全面や活動時間の意識付けを図る。</p> <p>○ 前時の活動から、児童の考えやつくりたいものを学習カードや補助簿等で把握し、一人一人の思いを共感的にとらえ指導・助言に生かす。</p> <p>○ 同じ布でも、色や厚さ、肌触りなどが違うことを、その布に直接触れることで気付くようにする。</p> <p>○ 布を切ったり、接着したりする以外の方法についても、既習内容が活用できるよう、参考資料等を提示しながら児童の思いに合わせて助言し、表現を広げさせる。</p> <p>・ イメージがふくらまず活動が進まない児童には、教師と共に選んだ布の感じを話し合いながら、思い付いたことをどンドン試したり、参考資料を見たりすることで、イメージをつかむきっかけをつくる。</p> <p>・ 接着剤で付かない布や材料を使用している児童には、安全ピンを使用したり、穴を開けひもを通したりする方法もあることを知らせる。</p> <p>・ 布でつくった形を思いどおりに固定できない児童には、アルミ線をまいて形をつくる方法等を助言する。</p> <p>○ 製作の過程で気付いた、表現のおもしろさや美しさを大切にするとともに、友人の製作の様子にも目を向けさせ、互いのよさに気付くようにする。</p> <p>○ 自分の考えや見つけた表現方法等は、必要に応じて学習カードに記入させる。その際、友人に伝えることができるような記述をするよう助言し、考えを深めることができるようにする。</p> <p>④ 布と身边材料とを組み合わせ、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表している。 (観察, 作品, 学習カード)</p> <p>・ 布といろいろな身边材料とを組み合わせ、表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表すことができない児童には、布でつくった生きもの等について対話をしながら表したいことを確かめ、共に材料や用具、描画材を選んだり、友人の表現を参考にしたりするよう助言をする。作品の状況を見て、意図的に描画材や材料を選ばせることで、製作へのきっかけとする。</p> <p>○ 学習カードに「学んだことを書く」ことにより、体験を言語化させ、自分の考えを深めたり、まとめたりする手立てとする。その際に、自分の思いや考え、工夫して表したことについて自分の言葉で表現させ、学びを実感させる。また、グループの友人と自分の思いを伝え合ったり、話し合ったりすることができるよう、児童の実態に合わせた適切な助言をする。</p> <p>○ 友人の作品を見たり、思いを聞いたりしたことから気付いたことも、学習カードに記入させ、表し方のよさやおもしろさを感じ取ることができるようにする。</p> <p>○ 一人一人の布の特徴を生かした表現の組合せのよさや、活動を認めることで、次時の活動への意欲を高めたい。</p>

(4) 板書

ぬのから生まれた「ヌノ〇△□」

自分の思いに合わせて、工夫して「ヌノ〇△□」をつくろう。

切り方

つなげ方

大きさ

形

組み合わせるもの

学習計画

ステージ1

ぬので遊んで、「ヌノ〇△□」をつくろう

ステージ2

「ヌノ〇△□」をつくろう

ステージ3

「ヌノ〇△□」をしょうかいしよう

どうやってつなげようかな？

掲示資料

ヌノ〇△□カード

- ・ふり返り
- ・工夫したこと
- ・見たり聞いたりして考えたこと
- ・次の時間に試したいこと